

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 42週 > 感染性胃腸炎 - 定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第42週の報告数は37で、第42週時点での今年の累積報告数は4,024



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / ヘルパンギーナ



速報
P.6-7

10月におけるA(H3)型インフルエンザウイルスの分離 - 仙台市



海外感染症情報
P.8

米国の炭疽 - 更新 / コンゴ民主共和国の髄膜炎菌感染症 - 更新 / 西ナイルウイルスの活動性 - 米国



感染症の話
P.9-12

デング熱
媒介する蚊の存在する熱帯・亜熱帯地域でみられ、日本国内での感染はないが、海外旅行で感染し国内で発症する例がある



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(42週)
P.14-20



42週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第42週コメント 10月26日集計分

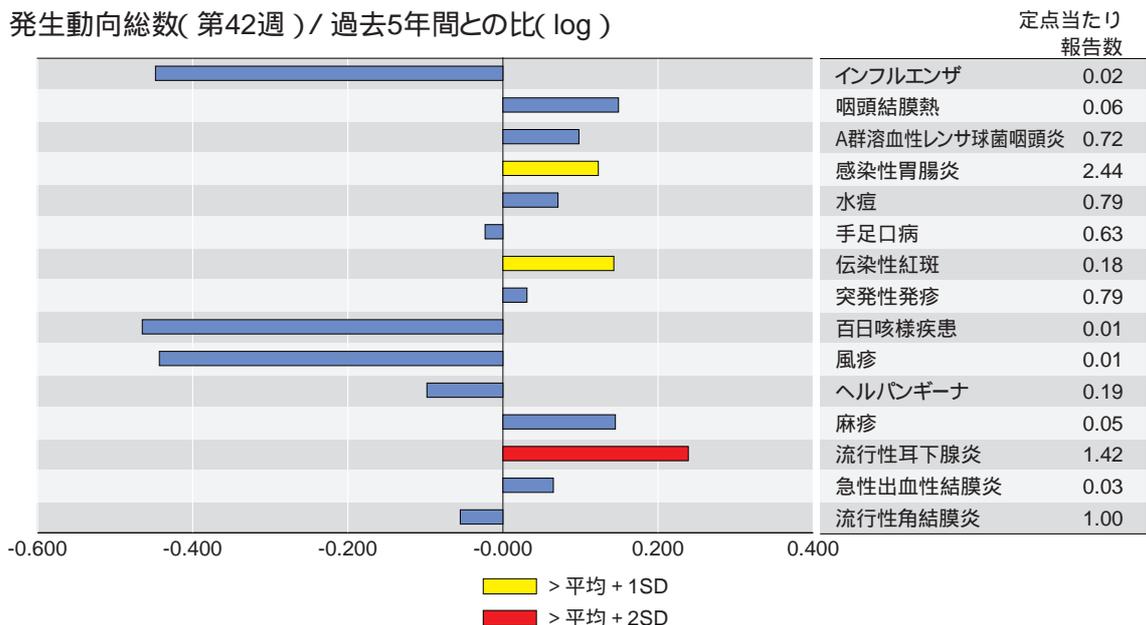
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢12例(推定感染地: 国内5例、インドネシア2例、中国、ベトナム、北朝鮮、インド、モロッコ各1例)、腸チフス1例(推定感染地: インドネシア)、パラチフス1例(推定感染地: ネパール・タイ)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症37例(腸管出血性大腸菌感染症の詳細な情報については、4ページ「注目すべき感染症」を参照)
- 4類感染症: アメーバ赤痢6例、オウム病1例、Q熱3例(うち2例の推定感染地は、畜産関係のツアーで訪れたオーストラリアの牧場)、クロイツフェルト・ヤコブ病2例(とくに孤発性)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ツツガムシ病4例、
 デング熱1例(推定感染地: タイ)、破傷風3例、レジオネラ症2例
 急性ウイルス性肝炎3例 A型2例
 B型1例_感染経路: 不明
 後天性免疫不全症候群10例(AIDS 4例、無症候性キャリア6例)
 感染経路: 性行為6例(同性間4例、異性間2例)
 その他1例、不明3例
 梅毒11例(早期顕症7例、無症候4例)
 マラリア5例 三日熱マラリア2例(推定感染地: インド、パプアニューギニア)
 熱帯熱マラリア3例(推定感染地: セネガル、タンザニア、ミャンマー)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される。定点当たり報告数が多くなっているのは、鳥取県、福井県(定点当たり報告数5.5)、三重県(4.9)、石川県、宮崎県、大分県(4.1)などである。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県(6.7)、富山県(4.4)、沖縄県(4.3)などである。

発生動向総数(第42週) / 過去5年間との比(log)

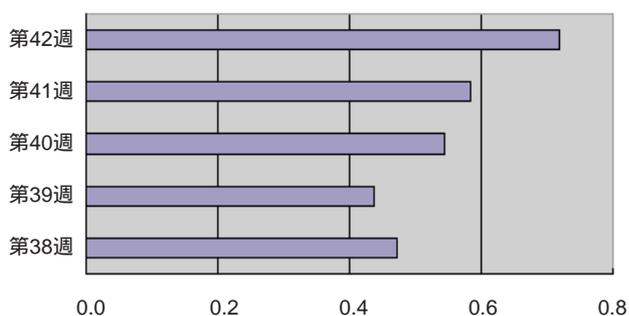


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均) の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

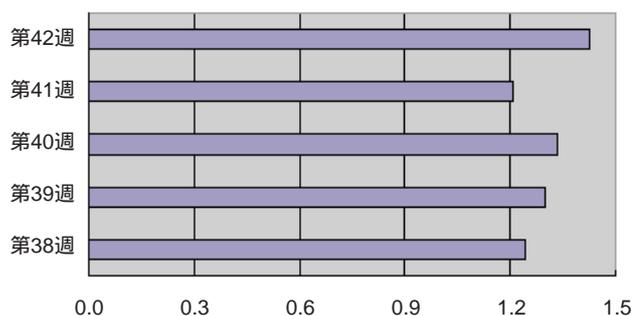
最近の注目疾患－5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加しており、今後年末のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より増加した。基幹病院定点からの報告疾患であるマイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は前週より増加し、昨年、一昨年に比べると定点当たり報告数の多い状態が続いている。

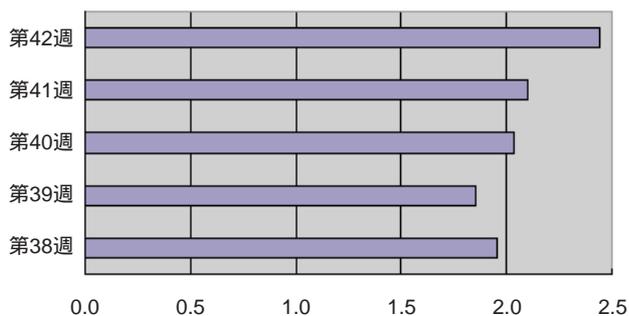
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



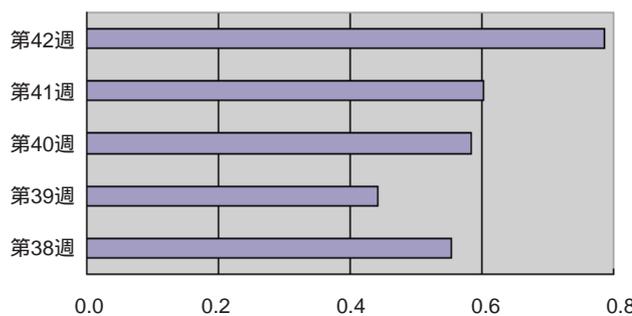
流行性耳下腺炎



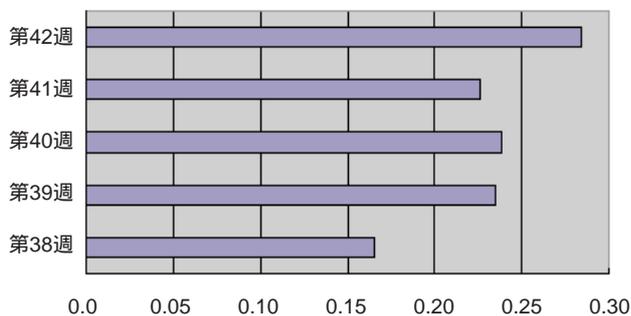
感染性胃腸炎



水痘



マイコプラズマ肺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

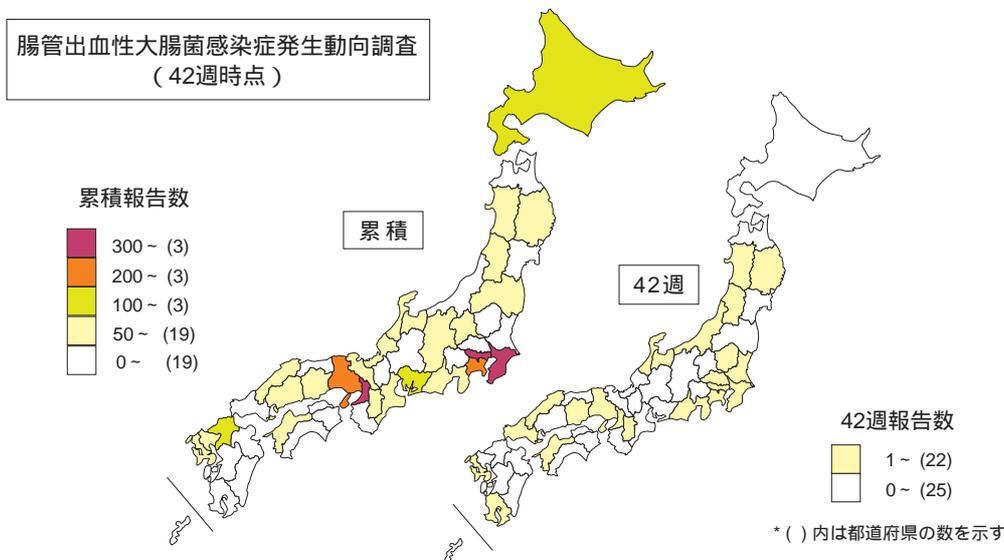


注目すべき感染症

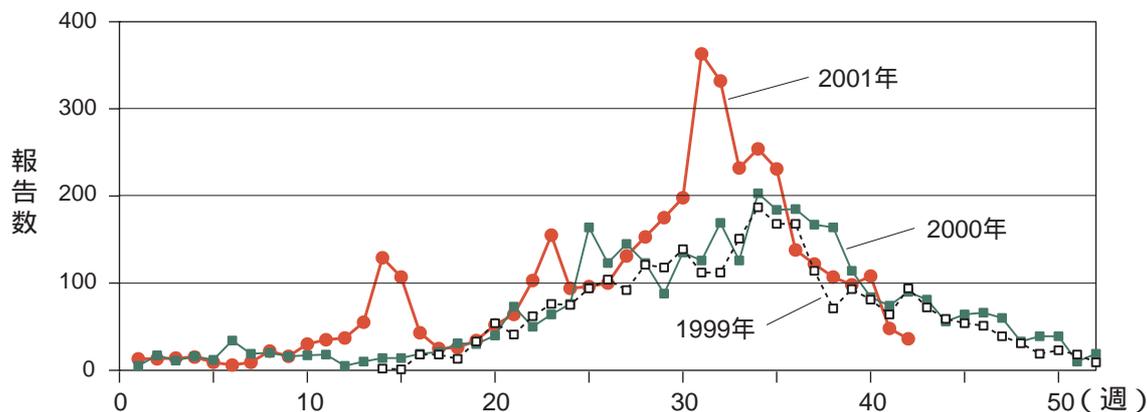
腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2001年には早期から複数のO157による集団感染事例が発生した影響で、昨年、一昨年に比べ早い時期から報告件数が多くなっていたが、9月以降患者数は減少傾向にある。第42週の報告数は37例で、都道府県別では、大阪府から4例、長崎県、神奈川県、山形県からそれぞれ3例などの報告があった。37例のうち有症者は20例で、重症例、死亡例の報告は認められなかった。

第42週時点での本年の累積報告数は4,024例であり(昨年同期3,077)、都道府県別では千葉県(357例)、大阪府(328例)、東京都(302例)、神奈川県(258例)、兵庫県(252例)、埼玉県(211例)などからの報告が多い。本年度の累積報告数を年齢階級別にみると、0～4歳が最も多く(919例)、次いで5～9歳(566例)、10～14歳(354例)が多くなっている(病原体については5ページを参照)。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)発生状況



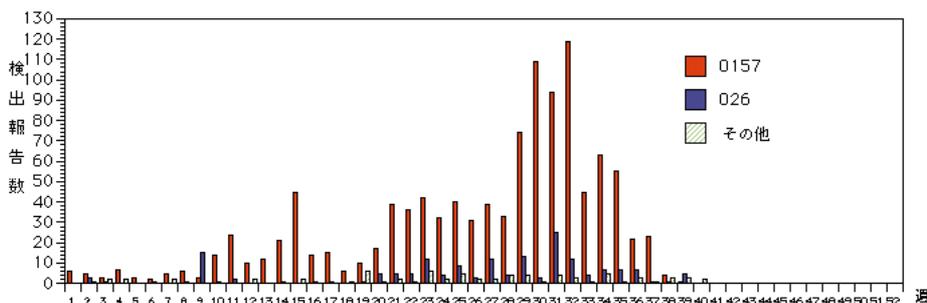


病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2001年10月25日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌O157およびO26検出報告 2001年
本年のVero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が1,130件、O26が172件である。最近では、O157が第39週に1件(福岡県1)、O26が第39週に5件(秋田県2、山形県2、愛媛県1)の報告があった。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2001年 (病原微生物検出情報: 2001年10月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2001年

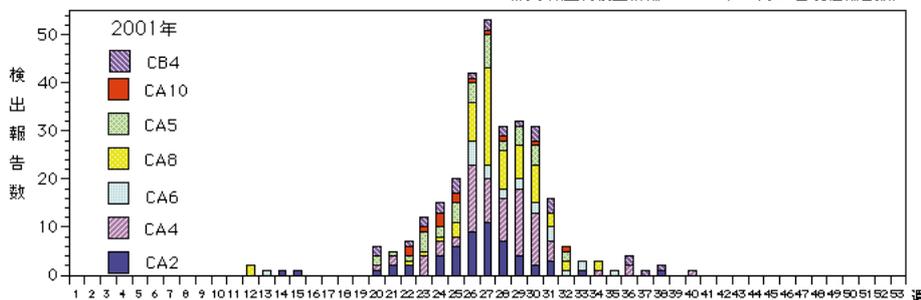
本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、ムンプスウイルス45件(東京都12、新潟県7、広島県4、愛媛県4、大阪市3、京都市2、広島市2、香川県2など)、エコーウイルス(E)118件(11型88、6型19、3型3、18型3、25型2、9型1、16型1、21型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)87件(5型64、4型11、3型9、1型2、6型1)、A群コクサッキーウイルス(CA)14件(9型10、4型1、5型1、6型1、7型1)、エンテロウイルス71型(EV71)1件である。

ヘルパンギーナ患者から分離されたウイルス 2001年

本年第19週以降に分離報告されたウイルスは、A群コクサッキーウイルス(CA)273件(4型77、8型64、2型53、5型37、6型21、10型13、9型5、16型2、12型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)60件(4型26、5型15、3型7、1型2)、エコーウイルス(E)14件(11型8、25型2、3型1、6型1、21型1、22型1)である。2000年に分離報告されたウイルスは、CA10(115件)、CA4(63件)、CA6(55件)の順に多かったが、今年は現在までのところCA4、CA8、CA2の分離報告が多い。

週別ヘルパンギーナ患者からの主なコクサッキーウイルス分離報告数、2001年

(病原微生物検出情報: 2001年10月26日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。





10月におけるA(H3)型インフルエンザウイルスの分離 - 仙台市

- 家族内発症の疑われる症例からの、抗原性ならびに血球凝集性に注意を要するウイルスの分離についての報告 -

2001年10月5日採取の検体より、今シーズン初と思われるA(H3)型インフルエンザウイルスが1例分離されたので報告する。

患者は仙台市内に住む0歳10カ月の男児であり、10月4日に発症し、その後38 台の発熱と強い咳症状が続いたため、10月9日に市内の病院を受診し、そこで下気道炎の診断にて入院している。その後熱は37 台に下がり、10月11日に退院している。

10月5日同病院で採取した咽頭ぬぐい液は、国立仙台病院ウイルスセンターに送られ、10月12日同センターにて臨床検体から、呼吸器系ウイルス全般の日常的分離・スクリーニングを目的として用いられているHHMV(HEp-2、HEF、MDCK、Vero細胞)およびHMV-II細胞マイクロプレートシステムに接種したところ、MDCK細胞のみに接種3日目に中等度のCPE像が認められた。そのためインフルエンザウイルスを疑い、同細胞で継代したところ、2代目で強いCPEが観察された。しかし、細胞培養上清には、0.5%七面鳥赤血球ではHA価測定でも顕微鏡下でも血球凝集性が認められず、モルモット血球にてかろうじて凝集性が認められる程度であった。そこでMDCK細胞でもう1代継代を試みたところ、接種後3日目で100%のCPEが認められた。この培養細胞上清についてHA価を測定したところ、やはり0.5%ニワトリ赤血球では1:2以下、七面鳥赤血球で1:2、0.5%モルモット血球で1:8であり(いずれも4 で反応を行った)低い血球凝集性しか示さなかった。10月22日、MDCK3代目の分離ウイルスについて、国立感染症研究所より分与された2000/01シーズン検査キットの抗血清を用いたHI試験を行ったところ、抗A/Moscow/10/98(H1N1)およびA/New Caledonia/20/99(H1N1)、B/Yamanashi(山梨)166/98、B/Shangdong(山東)07/97血清はいずれもHI価10以下と、反応性を示さなかったが、抗A/Panama/2007/99(H3N2)およびA/Sydney/5/97(H3N2)血清は、それぞれ80および20と低いながらも反応した(ホモ価:前者についてモルモット赤血球にて640、七面鳥赤血球にて1,280)。

この結果、同分離ウイルスは、H3亜型のA型インフルエンザウイルスであると同定された。

なお、聞き取り調査によれば、当患児の母親も、患児と同時期の10月4日~9日にかけて39 台の発熱と全身の強い関節痛があり、かなりの重症感を伴うインフルエンザ様症状を示し、近医に受診していたという。また父親も10月5日発症で、高熱が1週間ばかり続いていたという。この父母の具合が悪いため、隣接するN市から手伝いに来ていた患児の祖母も、10月10日~14日にかけて発熱があったという。これらの大人たちについてはウイルス分離は試みられてはいないが、家族内発症が強く示唆されるものである。

本邦では本年非流行期8月29日に、沖縄でA(H3)型が1株分離されているが(病原微生物検出情報月報Vol.22、No.10参照)今回はそれ以来のA(H3)型ウイルスの分離となった。この10月に採取した検体からのウイルス分離を2000/01シーズンのウイルスの名残の、非流行期の分離とするか、あるいは来たる2001/02シーズンのはしりと位置付けるかは、議論のあるところであり、今後の解析にかかっている。なお、仙台市内では同時期にこのほかにも分離はできなかったものの、簡易抗原検出キットによりA型インフルエンザ陽性と出た患者の例も見られている。ただし、そ

れ以降現時点(10月23日)まで仙台市内におけるインフルエンザの分離はない。

今回の分離ウイルスがニワトリのみならず、七面鳥赤血球にも凝集性が乏しかったことは、今後同様のウイルス分離においては、分離手技上赤血球の選択には注意を要することを示唆している。これまでニワトリ赤血球を凝集せず、モルモット血球で反応するウイルスの分離例は多かったが、それでもその大半は七面鳥血球を凝集していたからである。さらにHI試験の結果からは、抗原性が2001/02シーズンのワクチン株A/Panama/2007/99(H3N2)と異なる可能性も示唆されており、今後のウイルス分離の動向には注意が必要と思われる。

国立仙台病院ウイルスセンター

岡本道子 千葉ふみ子 伊藤洋子 近江 彰 西村秀一

東北厚生年金病院小児科

貴田岡節子

(IASR2001年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

米国の炭疽 - 更新

CDC/Press Releases, WHO/CSR 2001年10月28日

10月28日までにCDCは、厳密な診断規準に基づいて13名の炭疽確認患者を報告している。内訳は、フロリダ州で2名、ニューヨーク市で3名、ニュージャージー州で3名、ワシントンD.C.で5名である。CDCは、また5名の炭疽疑い患者(ニューヨーク市で3名、ニュージャージー州で2名)を報告している。

最新の情報は以下のウェブサイトを参照されたい。

<http://www.bt.cdc.gov/> または <http://www.cdc.gov/od/oc/media/>

コンゴ民主共和国の髄膜炎菌感染症 - 更新

WHO/CSR 2001年10月22日

2001年10月16日までにWHOは、South-Kivu州Katana保健地域の15保健地区での死亡32名を含む378名(致死率8.46%)の髄膜炎菌感染症患者の発生を報告した。

この流行でA群髄膜炎菌が確認されており、A群髄膜炎菌に有効なワクチンを使用した予防接種キャンペーンが流行地域で実施されてきた。

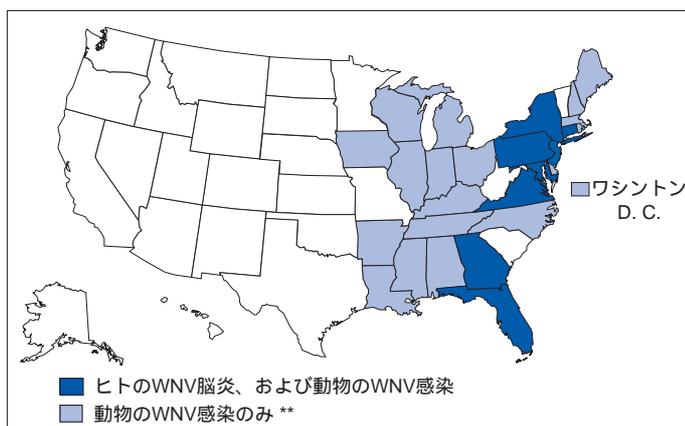
西ナイルウイルスの活動性 - 米国

MMWR 2001年10月26日

10月17日～10月23日の1週間に西ナイルウイルスによる脳炎・髄膜炎患者6名が、ペンシルバニア州(3名)、ニュージャージー州(2名)、フロリダ州(1名)で報告された。

今年これまでに37名の西ナイルウイルスによる脳炎・髄膜炎患者が、フロリダ州(10名)、メリーランド州(6名)、ニューヨーク州(6名)、ニュージャージー州(6名)、コネチカット州(5名)、ペンシルバニア州(3名)、ジョージア州(1名)で報告されている。そのうち、ジョージア州で1名が死亡した。37名のうち20名(54%)が男性で、年齢の中央値は69歳(年齢は36歳から81歳)であった。発症日は7月13日～10月7日であった。

西ナイルウイルス(WNV)感染の報告地域 - 米国2001年*



* 2001年10月23日時点

MMWR 50 (42); 26-7 より作製

** ミシシッピ州ではウマ1頭のみの陽性で鳥類の陽性はない。



感染症の話

デング熱

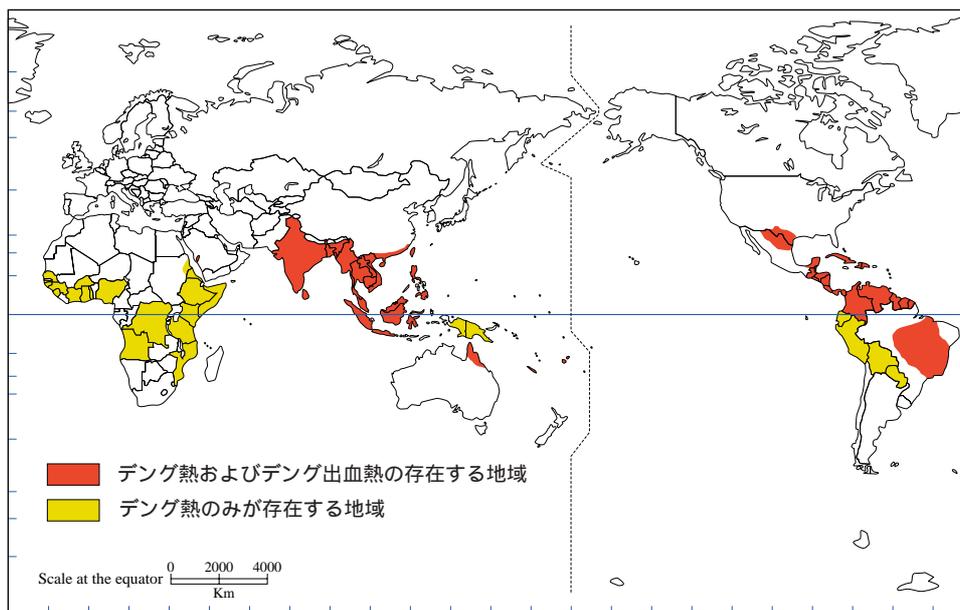
ネッタイシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。デングウイルスはフラビウイルス科に属し、4種の血清型が存在する。比較的軽症のデング熱と、重症型のデング出血熱とがある。

疫学

デングウイルス感染症がみられるのは、媒介する蚊の存在する熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国であるが、アフリカ・オーストラリア・中国・台湾においても発生している(図1)。全世界では年間約1億人がデング熱を発症し、約25万人がデング出血熱を発症すると推定されている。日本国内での感染はないが、海外旅行で感染し国内で発症する例がある。

感染症法施行後の患者届出数は、1999年(1 ~ 3月)9症例、2000年18症例であり、本年度は10月21日現在43例である。我が国における輸入症例は、国立感染症研究所ウイルス第一部に検査依頼のあった症例数をもみても、次頁の如く増加傾向にある(表1)。年度ごとの変動は、日本人旅行者のよく行く流行地でのデング熱の流行状況と関係しているようである。

図1. デング熱・デング出血熱の発生地域



WHO資料より作製

表1. 国立感染症研究所において診断された Dengue 熱 / Dengue 出血熱 輸入症例数, 1985 - 2001

年	総検査数	DF	DHF	DHF (死亡例)	擬似症例	既往	総数	
							Dengue	Non-Dengue
1985	8	4			1		4	3
1986	2					1	1	1
1987	13	4			1		4	8
1988	6	4					4	2
1989	6	1					1	5
1990	21	10		1	2		11	8
1991	11	5	1		1		6	4
1992	28	13			2	1	14	12
1993	15	7			1		7	7
1994	28	11			3		11	14
1995	35	16			2		16	17
1996	34	14			1	1	15	18
1997	26	6			1		6	19
1998	90	42			1		42	47
1999	40	11					11	29
2000	44	19					19	25
2001 (10月15日現在)	67	33					33	34

病原体

Dengue ウイルスは、日本脳炎ウイルスと同じフラビウイルス科に属するウイルスで、やはり蚊(主に *Aedes aegypti*) によって媒介される。4つの血清型(1型、2型、3型、4型)に分類され、たとえば1型にかかった場合、1型に対しては終生免疫であるが、他の血清型に対する交叉防御免疫は数ヶ月で消失し、その後は他の型に感染しうる。この再感染時に、DHFになる確立が高くなるといわれている。そのため、型別も含めた実験室内診断が重要である。Dengue ウイルスはヒト-蚊-ヒトの感染環を形成し、日本脳炎ウイルスにおけるブタのような増幅動物は存在しない。

臨床症状

Dengue ウイルスに感染した場合、かなりの割合で不顕性感染に終わると考えられている。しかし、実際には感染者のどのぐらいの率が不顕性感染として終わるかということはよくわかっていない。

① Dengue 熱(DF)

症状を示す患者の大多数は Dengue 熱と呼ばれる一過性熱性疾患の症状を呈する。感染3~7日後、突然の発熱で始まり、頭痛特に眼窩痛・筋肉痛・関節痛を伴うことが多く、食欲不振、腹痛、便秘を伴うこともある。発熱のパターンは二相性になることが多いようである。発症後、3~4日後より胸部・体幹から始まる発疹が出現し、四肢・顔面へ広がる(図2)。

これらの症状は1週間程度で消失し、通常後遺症なく回復する。



図2. Dengue 熱患者の発疹(日本人男性患者)

② Dengue 出血熱(DHF)

Dengue ウイルス感染後、Dengue 熱とほぼ同様に発症し経過した患者の一部において突然、血漿漏出と出血傾向を主症状とする Dengue 出血熱となる。重篤な症状は、発熱が終わり平熱に戻りかけたときに起こることが特徴的である。

患者は不安・興奮状態となり、発汗がみられ、四肢は冷たくなる。極めて高率に胸水や腹水がみられる。また、肝臓の腫脹、補体の活性化、血小板減少、血液凝固時間延長がみられる。細かい点状出血が多く例でみられる。さらに出血熱の名が示すように、10 ~ 20%の例で鼻出血・消化管出血等がみられる。しかし、症状の主体は血漿漏出である。血漿漏出がさらに進行すると、循環血液量の不足から hypovolemic shock になることがある。症状の重症度により Grade 1 ~ 4 の4段階に分けられ、ショック症状を示す Grade 3, 4 は Dengue ショック症候群と呼ばれることもある(表2)。

Dengue 出血熱は適切な治療が行われないと死に至る疾患である。致死率は国により数パーセントから1パーセント以下と異なる。

表2. WHOによる Dengue 出血熱の病態分類

- Grade 1 : 発熱と非特異的症状、出血傾向として Tourniquet テスト*陽性。
- Grade 2 : Grade 1 に加えて自発的出血が存在する。
- Grade 3 : 頻脈、脈拍微弱、脈圧低下 (20mmHg以下) で代表される循環障害
- Grade 4 : ショック状態、血圧や脈圧測定不能

*Tourniquet テスト : 日本では臨床医が Dengue 熱患者を診察した時にあまり実施されていないが、患者の腕を駆血帯で圧迫することにより、点状出血が増加する現象を見ることである。2.5cm²あたり10以上の溢血点(点状出血)を観察した場合陽性とする。陽性の場合、Dengue 熱の診断上重要な指標となりうる。

病原診断

病原体診断では RT-PCR 法によるウイルス遺伝子の検出、および蚊由来 C6/36 細胞やアフリカミドリザル由来の Vero 細胞により、ウイルス分離を行う。型特異プライマーを用いてウイルス遺伝子を検出すれば、型別診断ができる。

血清診断では IgM 捕捉 ELISA による IgM 抗体の検出を行う。急性期に比し回復期における特異中和抗体価、HI 抗体価の上昇によっても診断可能である。ただし、日本脳炎ウイルスに免疫を有する多くの日本人においては、Dengue ウイルス感染により、日本脳炎ウイルス抗体価も上昇する例が多いので注意を要する。1型から4型のウイルスそれぞれに対するプラーク減少法により、中和抗体価を測定すれば、型別診断も可能である。

治療・予防

通常のデング熱の場合には輸液や解熱鎮痛剤程度にとどまることがほとんどである。ただし、解熱鎮痛剤としてサリチル酸系統のものは出血傾向やアシドーシスを助長することから禁忌であり、アセトアミノフェンが勧められる。

デング出血熱の場合には循環血液量の減少、血液濃縮が問題であり、適切な輸液療法が重要となる。輸液剤としては単純な生理食塩水、乳酸加リンゲル液などの他に新鮮凍結血漿、膠質浸透圧剤などが必要になることもあり、バイタルサインなどとともにヘマトクリット値をモニターしながら投与する。時には、酸素投与や動脈血pHの状況により、重炭酸ナトリウムの投与なども行われる。

予防に関しては、日中に蚊に刺されない工夫が重要である。具体的には、長袖・長ズボンの着用、昆虫忌避剤の使用などである。

感染症法での取り扱い

デング熱は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。

(国立感染症研究所ウイルス第一部 高崎智彦)



読者のコーナー

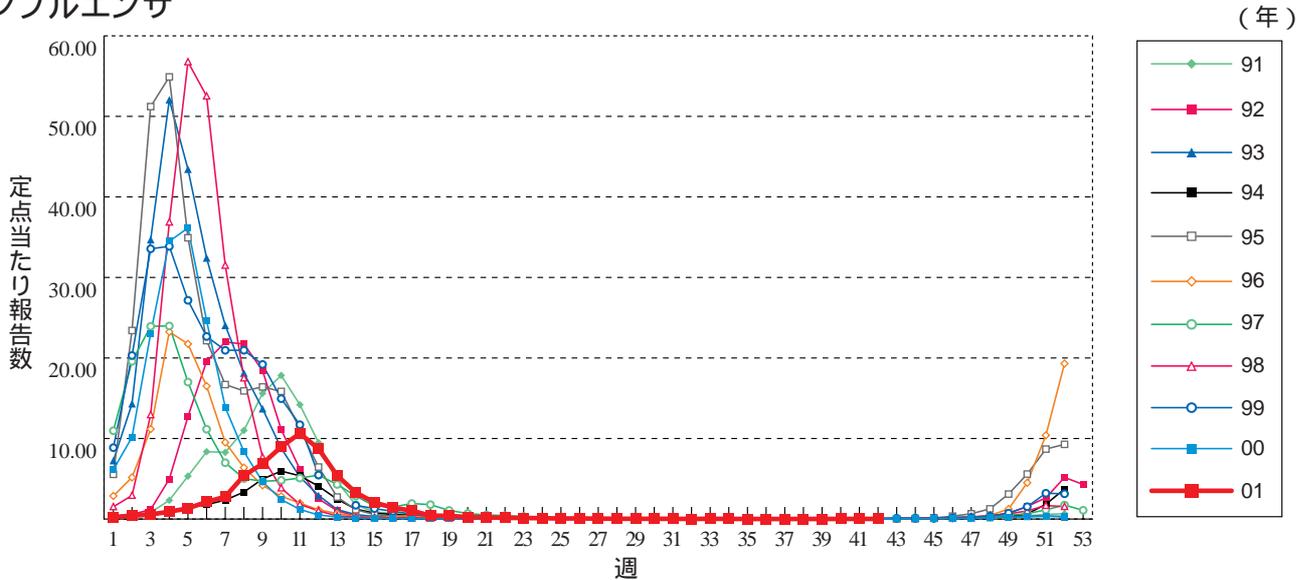
「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

idsq-query@nih.go.jp

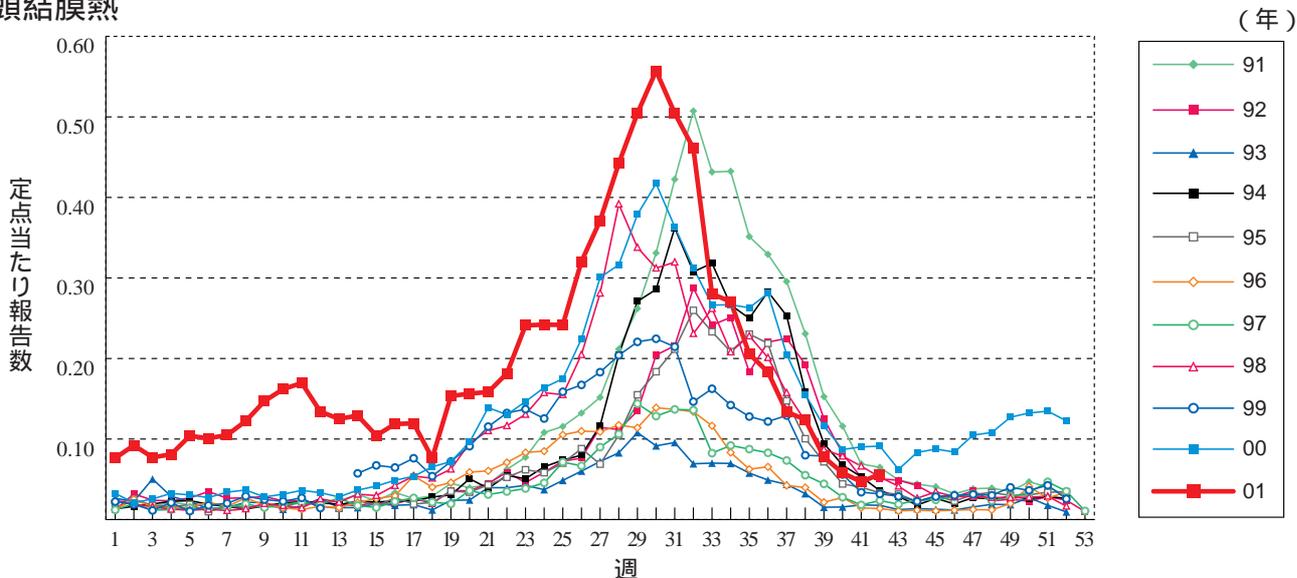


グラフ総覧(4 2 週)

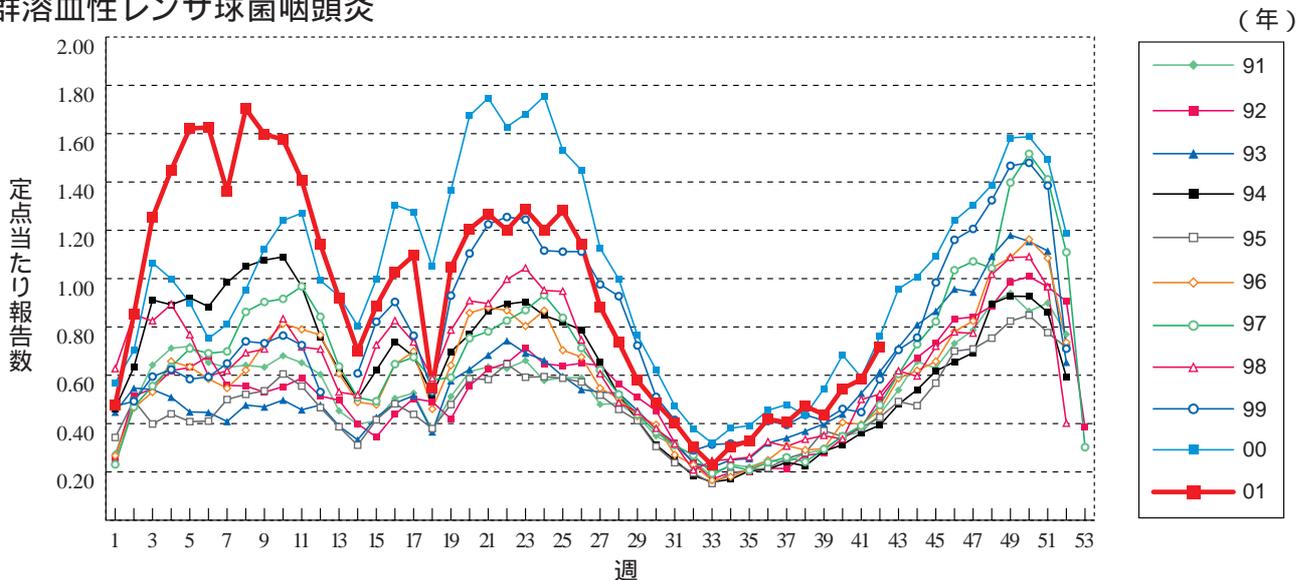
インフルエンザ



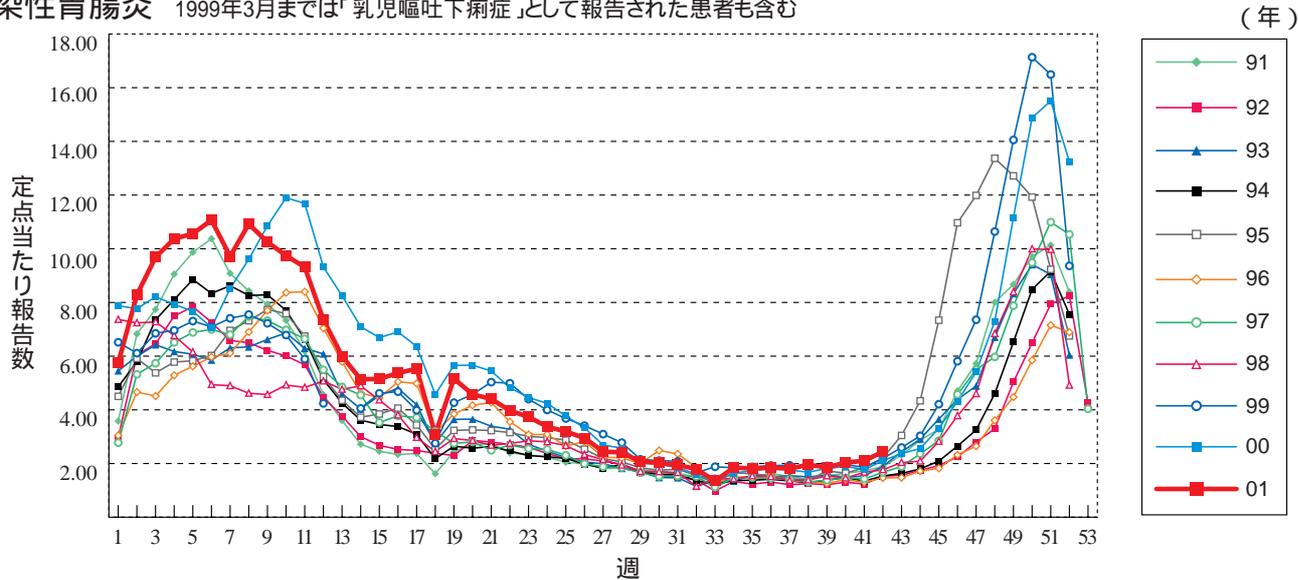
咽頭結膜熱



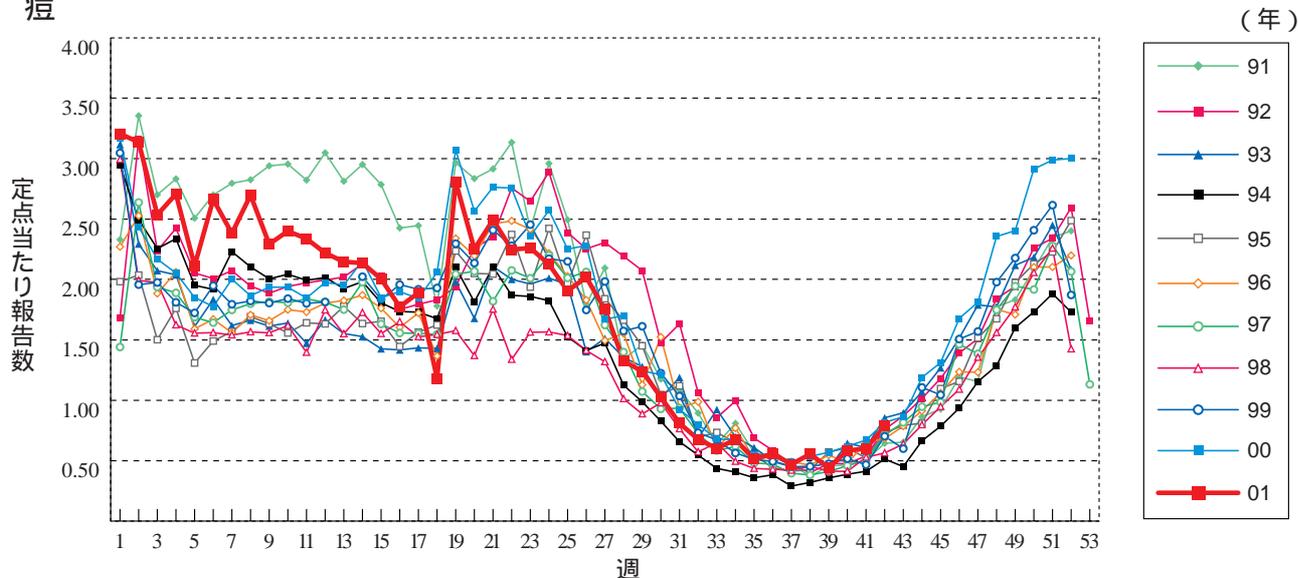
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



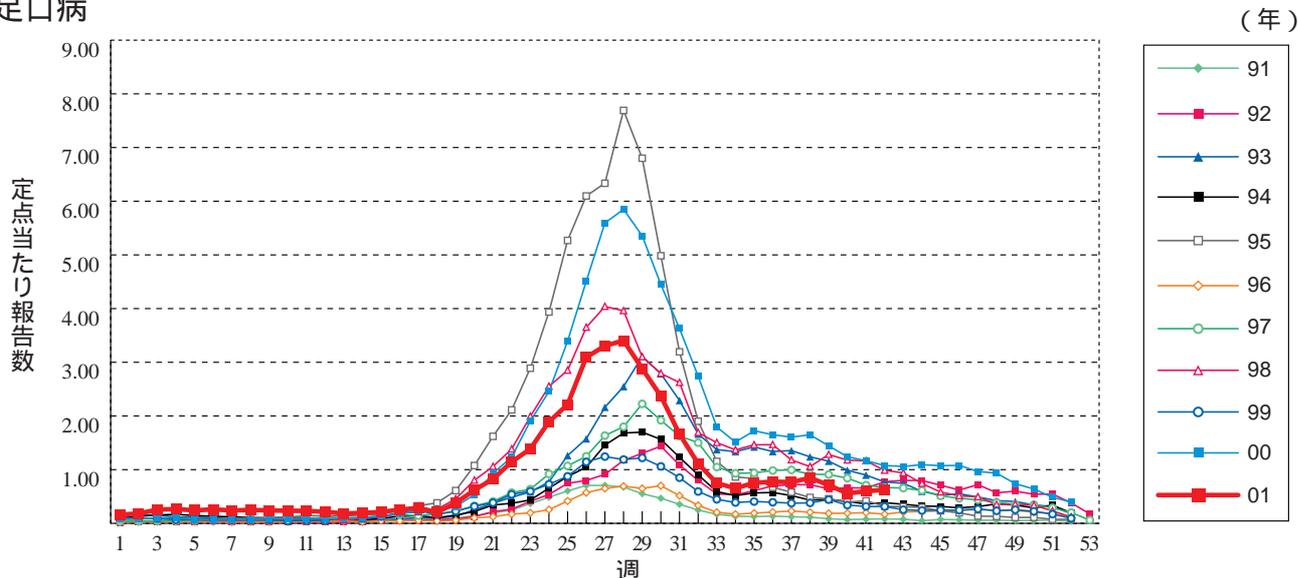
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



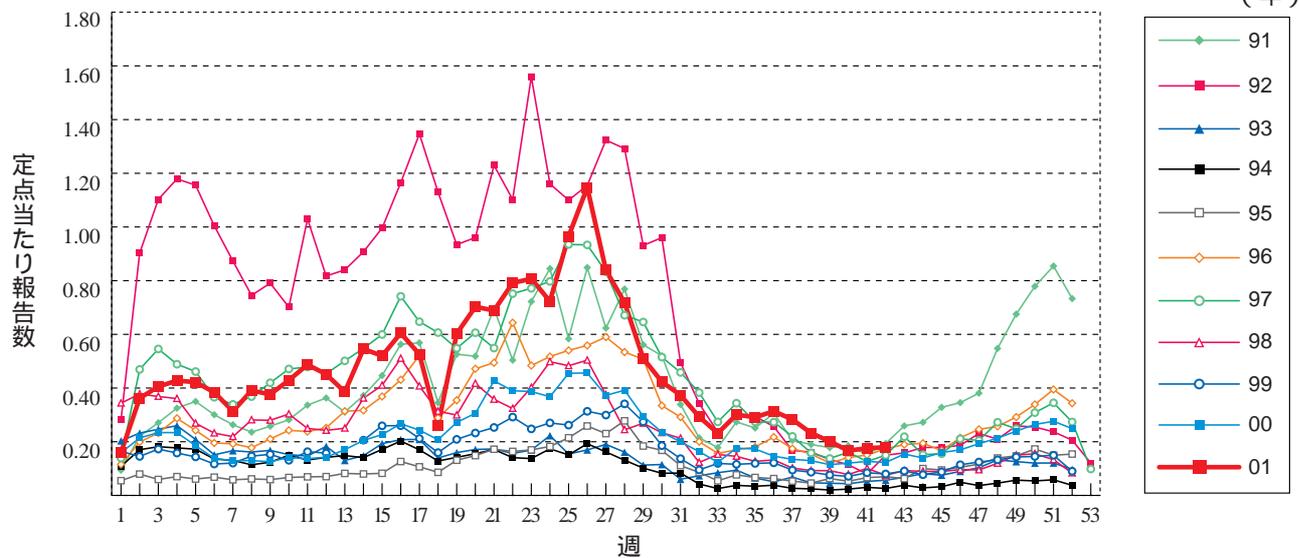
水痘



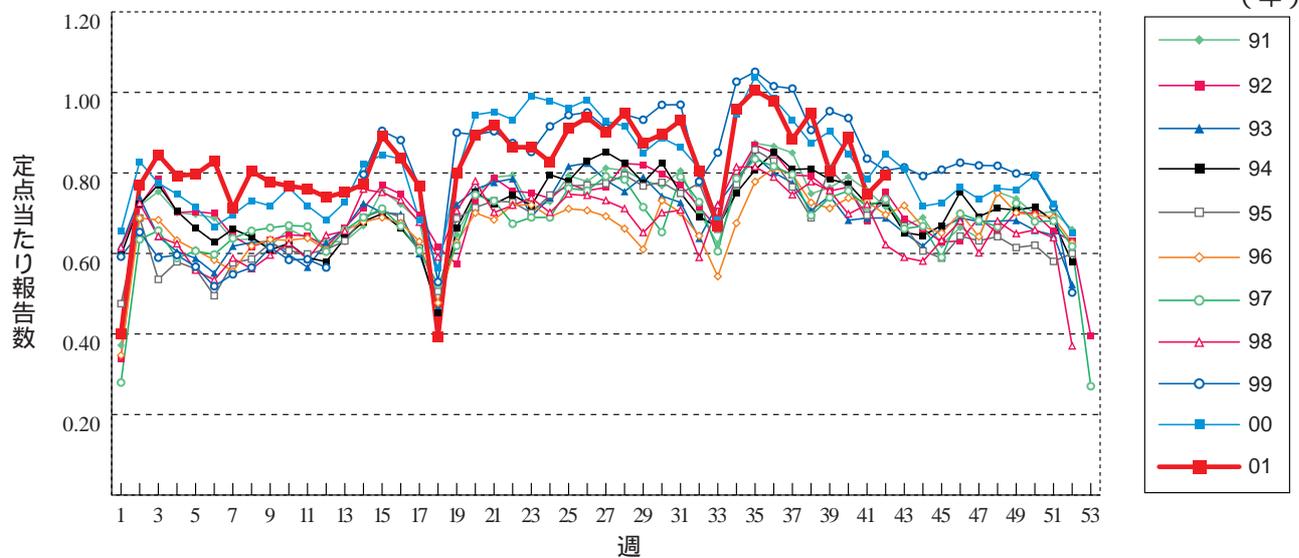
手足口病



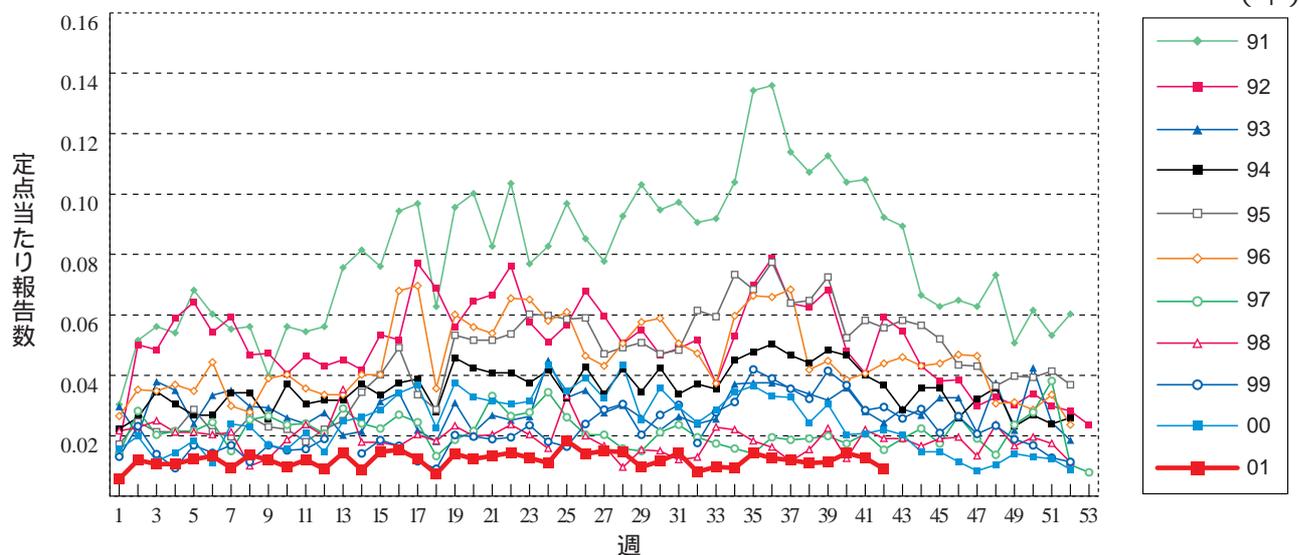
伝染性紅斑



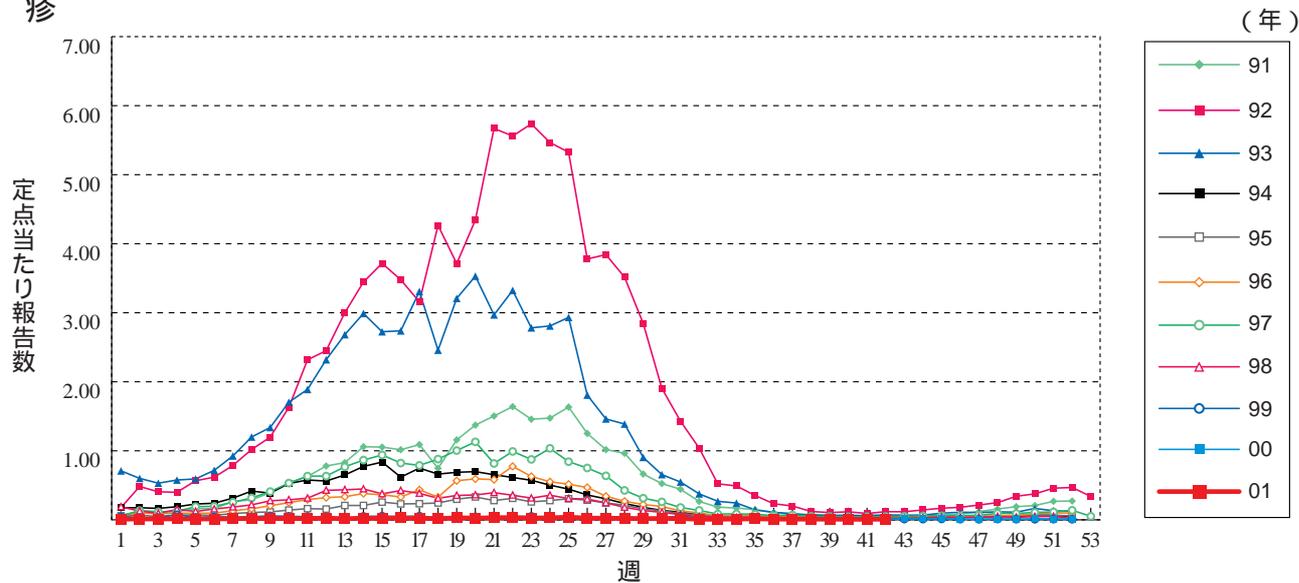
突発性発疹



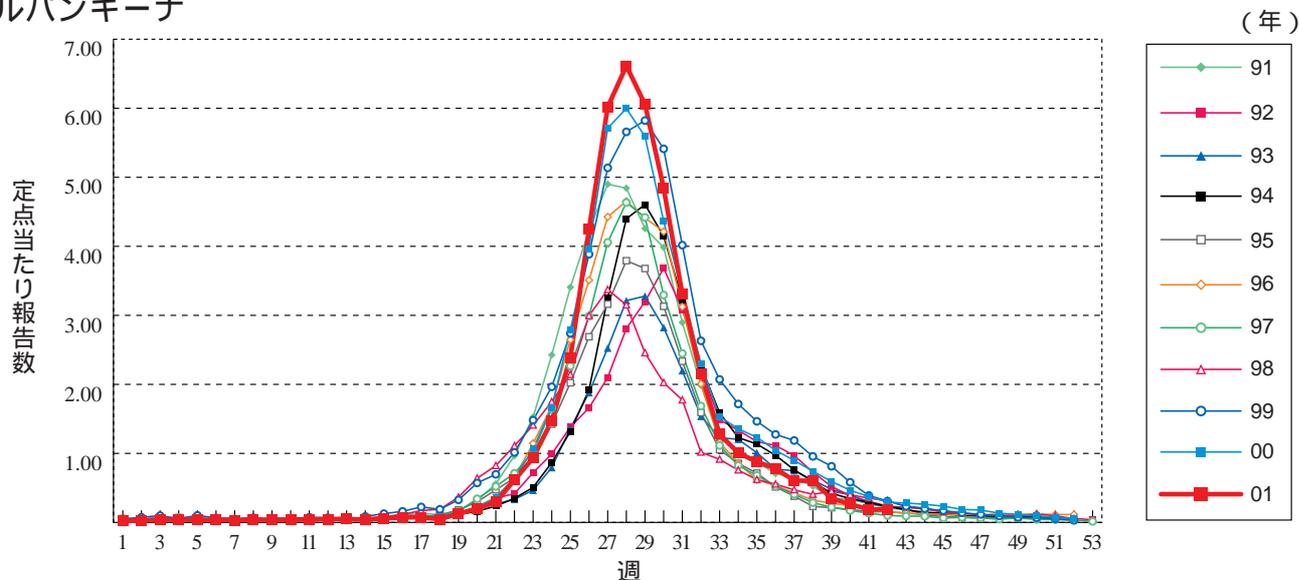
百日咳



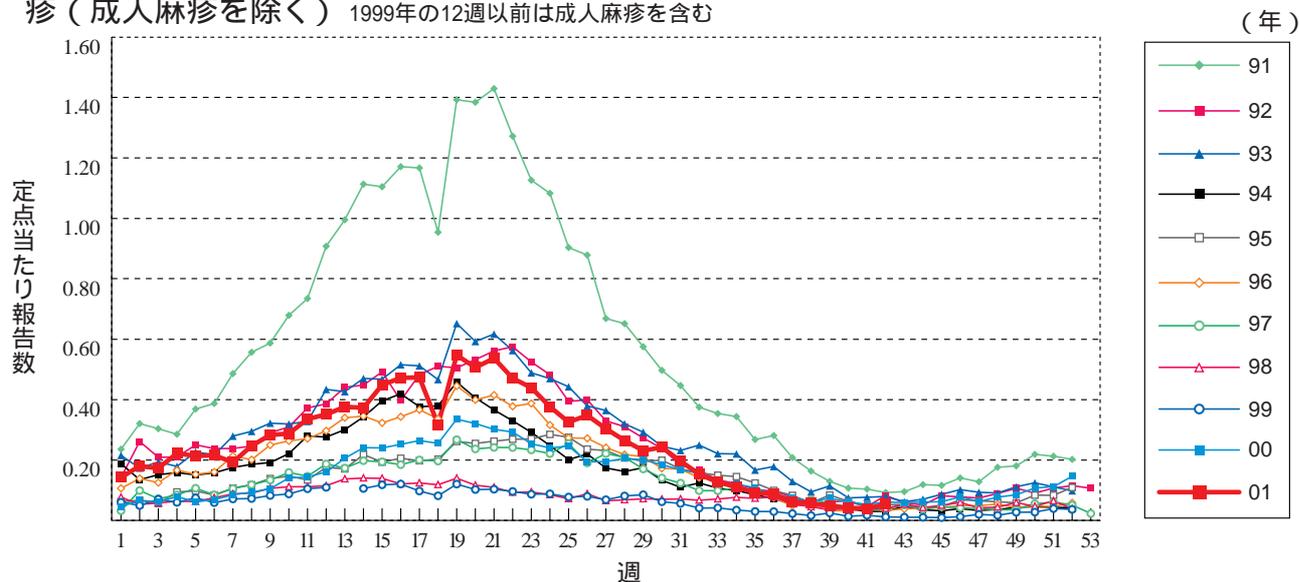
風 疹



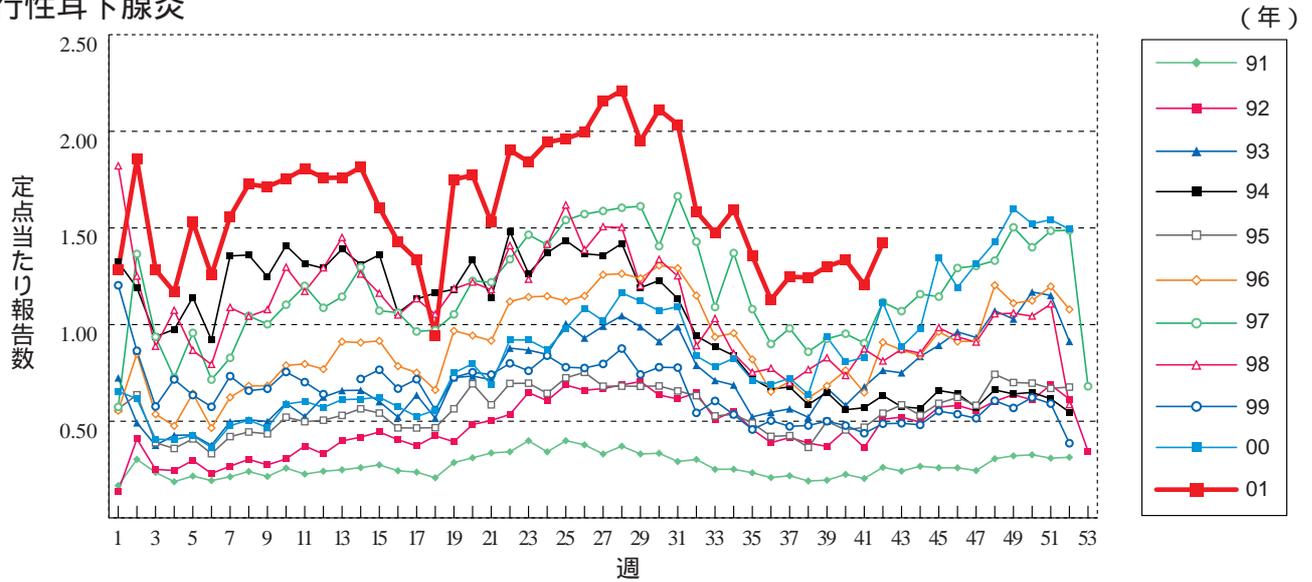
ヘルパンギーナ



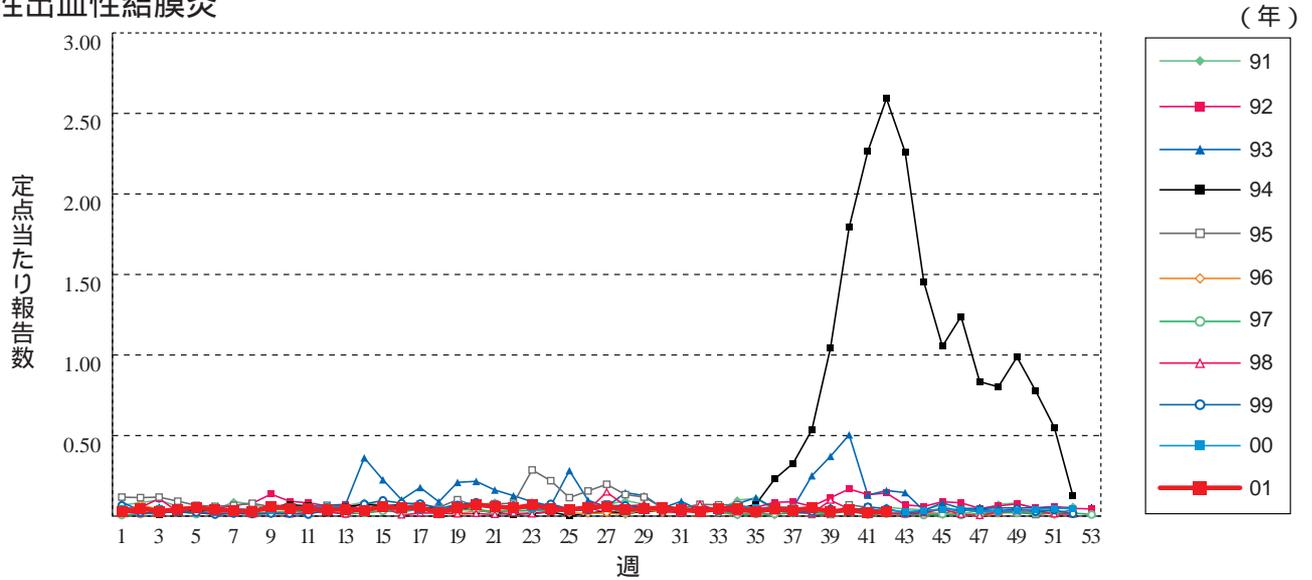
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



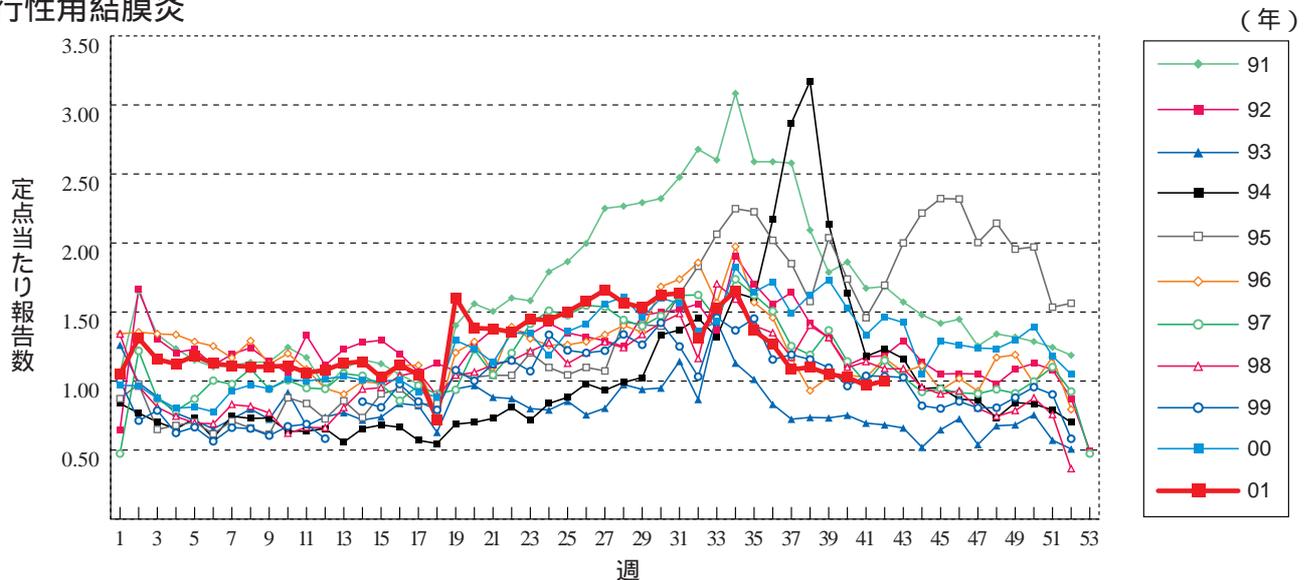
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

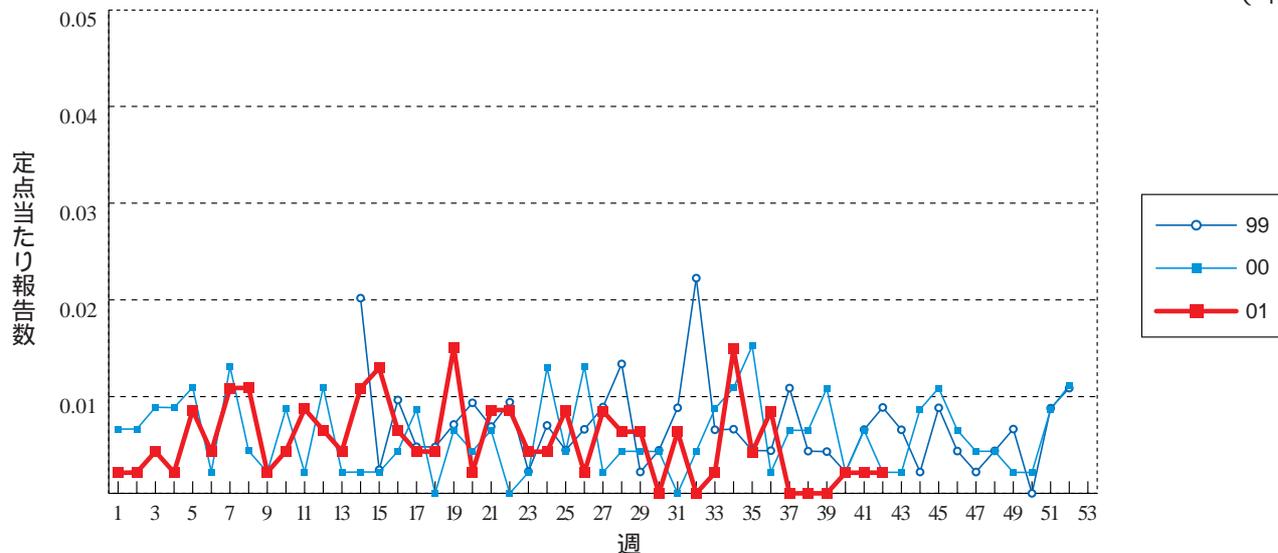


流行性角結膜炎



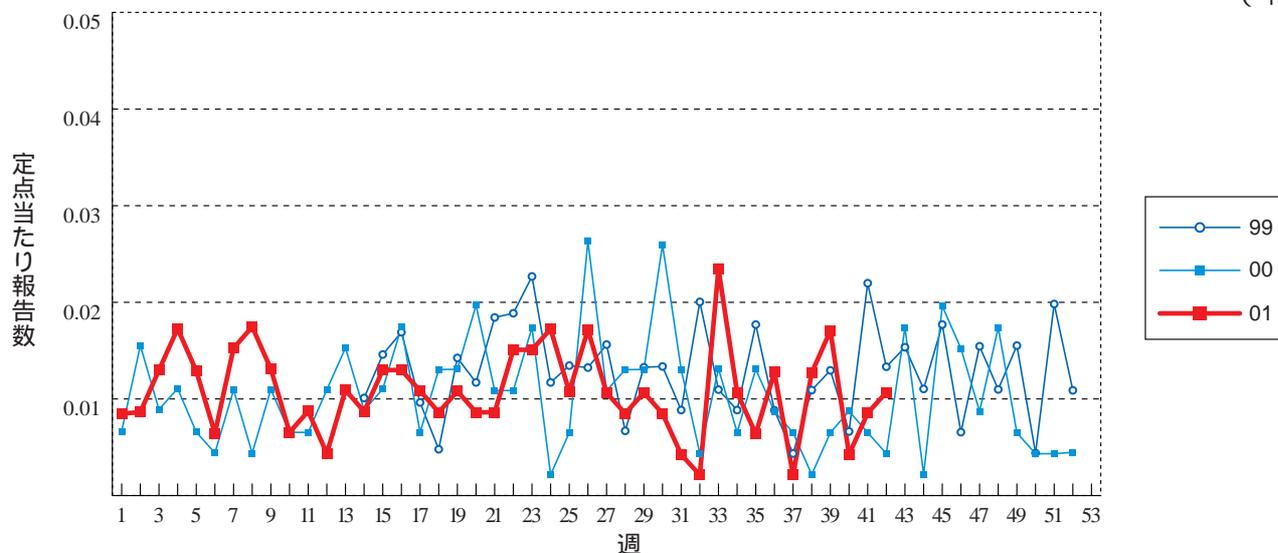
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



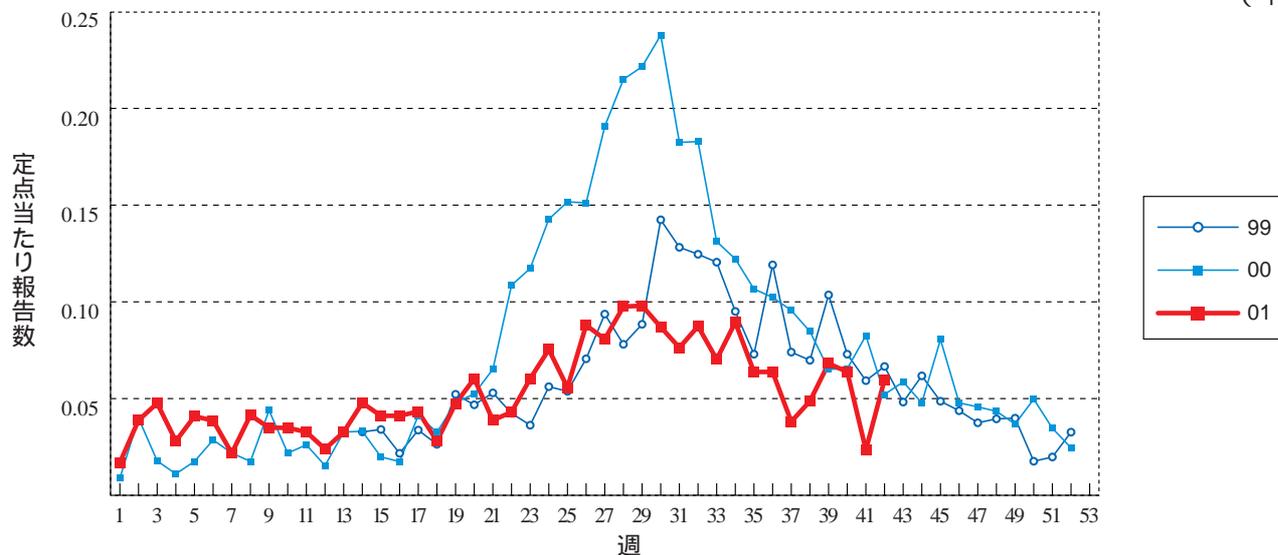
細菌性髄膜炎

(年)



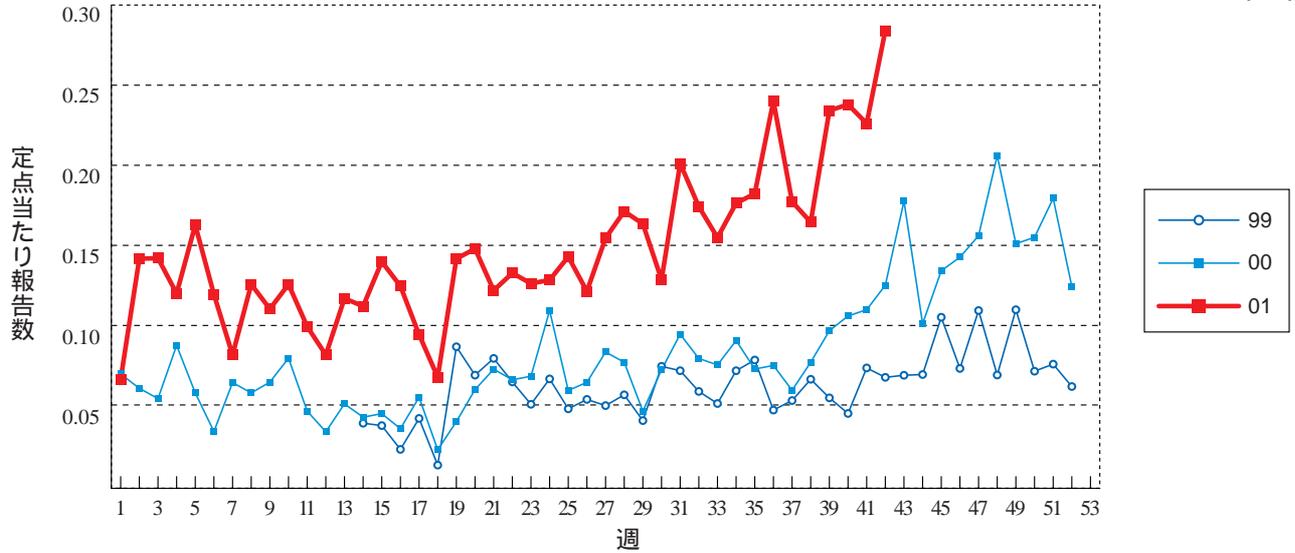
無菌性髄膜炎

(年)



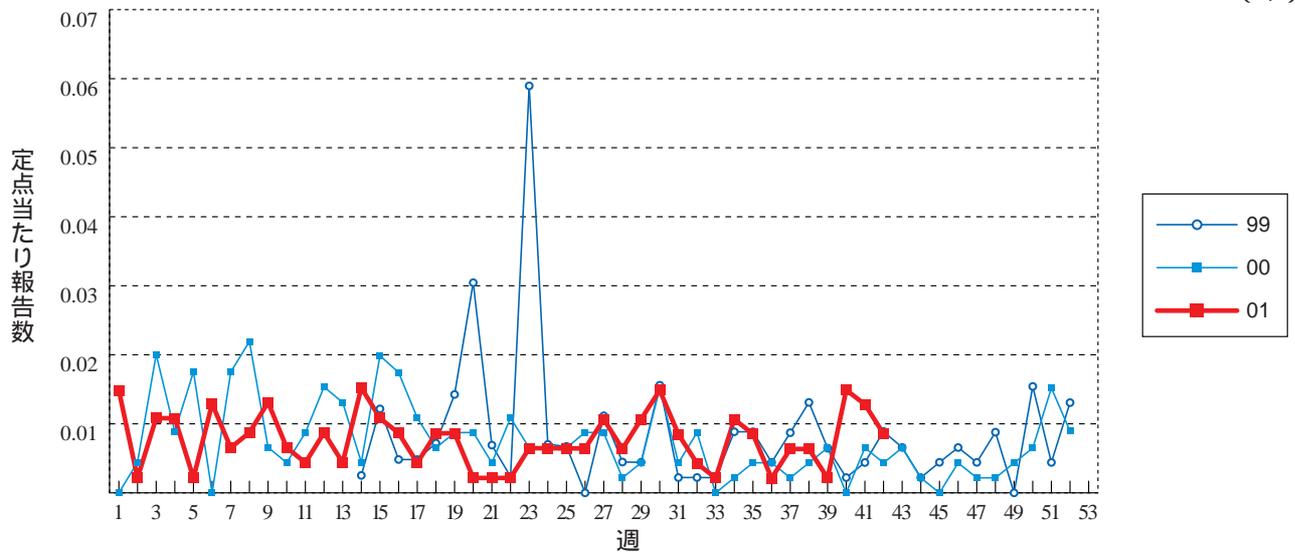
マイコプラズマ肺炎

(年)



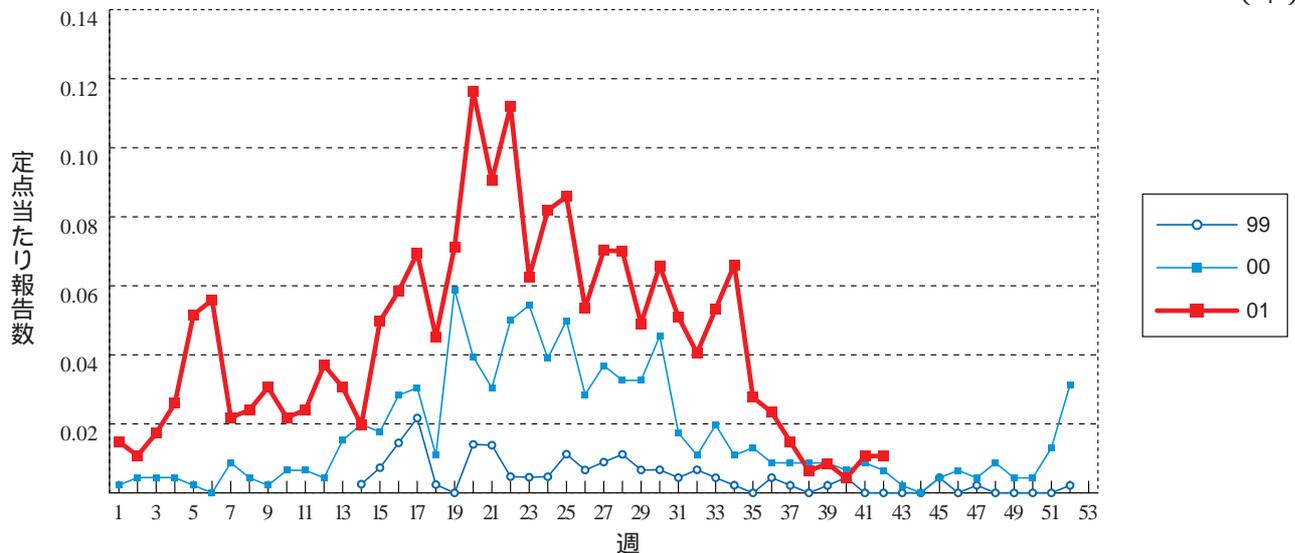
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





4 2週 の データ

注)表中の報告数は10月26日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年42週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	12	541	1	56	1	17		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	18	-	3	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	2	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	2	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	24	-	-	-	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	32	-	4	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1	108	-	15	1	12		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	38	-	3	-	3		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	13	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	10	-	1	-	-		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	31	-	5	-	1		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	46	1	7	-	-		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	1	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年42週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	37	4024	6	324	-	9	-	-	1	29	-	-	3	764
北海道	-	-	-	-	-	139	-	5	-	8	-	-	-	-	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	1	75	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
宮城県	-	-	-	-	-	44	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	25
秋田県	-	-	-	-	1	59	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
山形県	-	-	-	-	3	55	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福島県	-	-	-	-	-	51	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
茨城県	-	-	-	-	2	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
栃木県	-	-	-	-	1	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
群馬県	-	-	-	-	-	85	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
埼玉県	-	-	-	-	2	211	1	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14
千葉県	-	-	-	-	1	357	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
東京都	-	-	-	-	2	302	-	89	-	-	-	-	-	7	-	-	1	121
神奈川県	-	-	-	-	3	258	-	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
新潟県	-	-	-	-	1	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	2	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	2	55	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
福井県	-	-	-	-	-	59	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
長野県	-	-	-	-	-	58	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
岐阜県	-	-	-	-	-	21	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	48
静岡県	-	-	-	-	1	53	-	5	-	-	-	-	1	4	-	-	-	8
愛知県	-	-	-	-	-	165	1	13	-	-	-	-	-	5	-	-	-	17
三重県	-	-	-	-	-	79	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	43	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	92	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大阪府	-	-	-	-	4	328	2	52	-	-	-	-	-	4	-	-	-	82
兵庫県	-	-	-	-	2	252	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70
奈良県	-	-	-	-	1	57	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
和歌山県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鳥取県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	1	93	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	71	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
広島県	-	-	-	-	-	81	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	23
山口県	-	-	-	-	1	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
香川県	-	-	-	-	-	15	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛媛県	-	-	-	-	1	50	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
福岡県	-	-	-	-	-	134	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49
佐賀県	-	-	-	-	-	82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	3	75	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
熊本県	-	-	-	-	-	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
大分県	-	-	-	-	-	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮崎県	-	-	-	-	-	35	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
鹿児島県	-	-	-	-	1	44	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19
沖縄県	-	-	-	-	-	23	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成13年42週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	25	-	-	-	6	2	98	1	38	10	731	-	1	-	112	-	-
北海道	-	2	-	-	-	-	1	4	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	9	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	20	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	27	-	-	-	2	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	55	-	-	-	2	-	-
東京都	-	7	-	-	-	4	-	8	-	4	5	289	-	-	-	52	-	-
神奈川県	-	1	-	-	-	2	-	4	-	1	-	69	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
長野県	1	1	-	-	-	-	-	2	-	2	1	16	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	1	-	15	-	-	-	2	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	31	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	13	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	1	70	-	-	-	13	-	-
兵庫県	1	1	-	-	-	-	-	9	-	3	1	18	-	-	-	3	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	4	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年42週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	7	-	1	-	-	4	208	1	43	-	30	-	3	-	-	11	436
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
青森県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	1	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3 6
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	10
東京都	-	1	-	-	-	-	-	4	-	19	-	-	-	-	-	-	1	80
神奈川県	-	1	-	-	-	-	1	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	1	7
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	14
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	94
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	4	-	-	-	-	1	20
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
広島県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	19
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
大分県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	1	-	1	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	7	-	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成13年42週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	65	-	35	-	-	-	-	-	-	-	-	5	92	-	11	2	61
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	4	-	2
青森県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2
東京都	-	3	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	2	38	-	3	-	11
神奈川県	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
大阪府	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1
兵庫県	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
山口県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年42週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	85	0.02	169	0.06	2160	0.72	7339	2.44	2362	0.79	1880	0.63	539	0.18	2387	0.79	27	0.01
北海道	6	0.03	26	0.18	205	1.41	236	1.63	173	1.19	205	1.41	32	0.22	105	0.72	-	-
青森県	2	0.03	1	0.02	23	0.55	59	1.40	52	1.24	45	1.07	17	0.40	19	0.45	-	-
岩手県	3	0.05	-	-	19	0.51	63	1.70	78	2.11	23	0.62	3	0.08	18	0.49	-	-
宮城県	2	0.02	7	0.12	55	0.93	176	2.98	63	1.07	68	1.15	18	0.31	46	0.78	3	0.05
秋田県	-	-	-	-	33	0.94	64	1.83	32	0.91	52	1.49	9	0.26	18	0.51	2	0.06
山形県	5	0.10	-	-	81	2.70	59	1.97	59	1.97	31	1.03	14	0.47	28	0.93	2	0.07
福島県	-	-	3	0.06	20	0.42	118	2.46	62	1.29	51	1.06	7	0.15	44	0.92	-	-
茨城県	-	-	3	0.04	35	0.48	133	1.82	47	0.64	48	0.66	13	0.18	35	0.48	1	0.01
栃木県	-	-	-	-	34	0.74	117	2.54	28	0.61	5	0.11	14	0.30	40	0.87	-	-
群馬県	-	-	6	0.11	56	1.02	99	1.80	72	1.31	10	0.18	4	0.07	24	0.44	1	0.02
埼玉県	2	0.01	11	0.07	173	1.08	527	3.29	134	0.84	57	0.36	25	0.16	146	0.91	1	0.01
千葉県	-	-	7	0.06	112	0.88	263	2.07	82	0.65	56	0.44	21	0.17	92	0.72	1	0.01
東京都	1	0.01	9	0.06	38	0.27	314	2.21	65	0.46	40	0.28	21	0.15	74	0.52	-	-
神奈川県	1	0.00	10	0.05	108	0.52	487	2.36	88	0.43	162	0.79	18	0.09	221	1.07	-	-
新潟県	-	-	5	0.08	54	0.92	180	3.05	92	1.56	75	1.27	4	0.07	52	0.88	-	-
富山県	-	-	-	-	31	1.07	59	2.03	27	0.93	19	0.66	4	0.14	23	0.79	-	-
石川県	-	-	1	0.03	12	0.41	120	4.14	17	0.59	50	1.72	6	0.21	27	0.93	1	0.03
福井県	-	-	3	0.14	13	0.59	121	5.50	29	1.32	22	1.00	3	0.14	17	0.77	1	0.05
山梨県	9	0.22	-	-	11	0.44	20	0.80	34	1.36	1	0.04	1	0.04	6	0.24	-	-
長野県	3	0.03	7	0.13	80	1.48	129	2.39	39	0.72	93	1.72	4	0.07	48	0.89	1	0.02
岐阜県	-	-	-	-	28	0.60	40	0.85	30	0.64	36	0.77	19	0.40	32	0.68	-	-
静岡県	1	0.01	2	0.02	51	0.59	200	2.33	63	0.73	74	0.86	8	0.09	74	0.86	1	0.01
愛知県	5	0.03	9	0.05	111	0.61	327	1.80	81	0.45	169	0.93	28	0.15	141	0.77	3	0.02
三重県	-	-	6	0.15	15	0.38	195	4.88	38	0.95	27	0.68	19	0.48	49	1.23	-	-
滋賀県	-	-	-	-	13	0.41	25	0.78	19	0.59	15	0.47	6	0.19	14	0.44	-	-
京都府	2	0.02	3	0.04	35	0.46	284	3.74	42	0.55	64	0.84	15	0.20	39	0.51	2	0.03
大阪府	4	0.01	9	0.05	80	0.42	395	2.09	110	0.58	22	0.12	16	0.08	131	0.69	2	0.01
兵庫県	-	-	4	0.03	47	0.37	405	3.16	95	0.74	15	0.12	23	0.18	147	1.15	1	0.01
奈良県	1	0.02	-	-	12	0.34	90	2.57	31	0.89	13	0.37	7	0.20	27	0.77	-	-
和歌山県	1	0.02	-	-	17	0.55	46	1.48	46	1.48	16	0.52	2	0.06	21	0.68	-	-
鳥取県	-	-	-	-	55	2.89	105	5.53	8	0.42	24	1.26	5	0.26	15	0.79	-	-
島根県	-	-	2	0.09	11	0.48	39	1.70	14	0.61	23	1.00	-	-	17	0.74	-	-
岡山県	-	-	-	-	15	0.28	99	1.83	47	0.87	48	0.89	6	0.11	13	0.24	-	-
広島県	1	0.01	8	0.11	54	0.72	181	2.41	59	0.79	51	0.68	8	0.11	58	0.77	-	-
山口県	-	-	2	0.04	52	1.06	171	3.49	32	0.65	12	0.24	18	0.37	54	1.10	-	-
徳島県	-	-	-	-	6	0.26	47	2.04	19	0.83	20	0.87	4	0.17	17	0.74	2	0.09
香川県	-	-	-	-	14	0.44	91	2.84	20	0.63	46	1.44	20	0.63	21	0.66	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	26	0.67	147	3.77	18	0.46	21	0.54	13	0.33	38	0.97	1	0.03
高知県	-	-	-	-	31	1.00	62	2.00	17	0.55	1	0.03	7	0.23	24	0.77	-	-
福岡県	7	0.04	4	0.04	119	1.13	335	3.19	84	0.80	8	0.08	30	0.29	114	1.09	-	-
佐賀県	-	-	2	0.09	16	0.70	46	2.00	21	0.91	2	0.09	5	0.22	27	1.17	-	-
長崎県	1	0.02	-	-	16	0.33	75	1.56	22	0.46	13	0.27	9	0.19	20	0.42	-	-
熊本県	-	-	6	0.12	54	1.10	130	2.65	58	1.18	25	0.51	11	0.22	55	1.12	1	0.02
大分県	5	0.09	2	0.06	24	0.67	148	4.11	28	0.78	4	0.11	4	0.11	43	1.19	-	-
宮崎県	-	-	8	0.22	40	1.08	153	4.14	42	1.14	5	0.14	9	0.24	52	1.41	-	-
鹿児島県	19	0.19	2	0.03	22	0.37	144	2.40	39	0.65	5	0.08	8	0.13	46	0.77	-	-
沖縄県	4	0.07	-	-	3	0.09	15	0.44	6	0.18	8	0.24	1	0.03	15	0.44	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成13年42週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	29	0.01	573	0.19	161	0.05	4280	1.42	18	0.03	632	1.00	1	0.00	5	0.01	28	0.06
北海道	2	0.01	90	0.62	32	0.22	201	1.39	-	-	29	1.00	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	6	0.14	2	0.05	63	1.50	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	23	0.62	-	-	25	0.68	8	0.67	5	0.42	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	29	0.49	4	0.07	39	0.66	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.03	6	0.17	-	-	34	0.97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	1	0.03	38	1.27	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	4	0.08	1	0.02	113	2.35	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	6	0.08	3	0.04	130	1.78	-	-	27	1.69	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	2	0.04	1	0.02	86	1.87	-	-	17	1.42	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	13	0.24	-	-	30	0.55	-	-	20	1.67	-	-	-	-	1	0.11
埼玉県	3	0.02	24	0.15	3	0.02	157	0.98	-	-	35	0.97	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	14	0.11	4	0.03	136	1.07	3	0.09	29	0.88	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	16	0.11	5	0.04	96	0.68	-	-	16	1.14	-	-	1	0.04	-	-
神奈川県	2	0.01	19	0.09	7	0.03	179	0.87	1	0.02	48	1.14	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	1	0.02	9	0.15	-	-	188	3.19	-	-	2	0.22	-	-	-	-	1	0.08
富山県	3	0.10	7	0.24	-	-	127	4.38	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	3	0.10	-	-	193	6.66	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	8	0.36	-	-	21	0.95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	2	0.08	52	2.08	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	11	0.20	1	0.02	214	3.96	-	-	17	1.70	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	3	0.06	1	0.02	98	2.09	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	5	0.06	12	0.14	94	1.09	-	-	15	0.75	-	-	-	-	1	0.13
愛知県	2	0.01	18	0.10	22	0.12	254	1.40	-	-	23	0.66	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	7	0.18	-	-	67	1.68	-	-	6	0.55	-	-	-	-	1	0.13
滋賀県	-	-	-	-	-	-	28	0.88	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	8	0.11	-	-	84	1.11	1	0.06	24	1.33	-	-	-	-	2	0.33
大阪府	3	0.02	37	0.20	5	0.03	194	1.03	1	0.02	22	0.43	1	0.08	-	-	2	0.17
兵庫県	-	-	14	0.11	-	-	98	0.77	-	-	29	0.83	-	-	-	-	1	0.07
奈良県	-	-	3	0.09	6	0.17	44	1.26	-	-	3	0.33	-	-	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	4	0.13	-	-	47	1.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	9	0.47	-	-	10	0.53	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	2	0.09	-	-	24	1.04	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	3	0.06	1	0.02	62	1.15	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	12	0.16	-	-	72	0.96	1	0.05	19	0.95	-	-	1	0.05	2	0.10
山口県	-	-	12	0.24	8	0.16	50	1.02	-	-	17	1.89	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	-	-	35	1.52	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	5	0.16	-	-	39	1.22	-	-	6	2.00	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	10	0.26	-	-	92	2.36	-	-	20	2.86	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	8	0.26	1	0.03	3	0.10	-	-	4	1.33	-	-	-	-	2	0.25
福岡県	-	-	23	0.22	6	0.06	177	1.69	-	-	32	1.33	-	-	-	-	1	0.07
佐賀県	-	-	7	0.30	1	0.04	62	2.70	-	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.04	13	0.27	29	0.60	3	0.30	10	1.00	-	-	1	0.07	-	-
熊本県	1	0.02	36	0.73	-	-	86	1.76	-	-	29	3.22	-	-	1	0.07	2	0.13
大分県	-	-	16	0.44	2	0.06	50	1.39	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.10
宮崎県	-	-	21	0.57	1	0.03	86	2.32	-	-	16	4.00	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.02	11	0.18	9	0.15	127	2.12	-	-	17	2.83	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	-	-	2	0.06	7	0.21	146	4.29	-	-	10	1.00	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成13年42週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	133	0.28	4	0.01	5	0.01
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	1	0.05	-	-
宮城県	13	1.08	-	-	-	-
秋田県	11	1.57	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-	-
福島県	4	0.57	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	2	0.29	-	-
群馬県	2	0.22	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	6	0.46	-	-	-	-
東京都	3	0.12	-	-	3	0.12
神奈川県	-	-	-	-	-	-
新潟県	4	0.31	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	7	0.70	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	6	0.75	1	0.13	-	-
愛知県	6	0.46	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.42	-	-	-	-
兵庫県	1	0.07	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	1	0.09	-	-	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-
島根県	9	1.13	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	-	-	-	-
広島県	7	0.33	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.67	-	-	-	-
高知県	14	1.75	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	3	0.50	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	6	0.40	-	-	-	-
大分県	1	0.10	-	-	2	0.20
宮崎県	3	0.43	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.29	-	-	-	-

感染症週報 第3巻、第42号 平成13年11月2日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。